

## 非常変災等における危機管理マニュアルについて

令和2年3月16日  
岐阜県立岐山高等学校

### 1 「土砂災害」が発生、予見される場合の対応

本校は平成26年度岐阜市作成土砂災害ハザードマップによって「土砂災害警戒地域」に指定されている。土砂災害警報が発令された場合、または予見される場合、以下のように対応する。

#### ① 想定される被害状況

百々峰からの土砂流入

(土砂の流入) 北舎1階、本館1階、体育館1階

(予想される被害) 電気、ガス、上下水道等(ライフライン) 途絶、トイレ使用不可、  
帰宅不可

#### ② 土砂災害の前兆現象

- ・ がけの表面に水が流れ出す
- ・ がけから水が噴き出す
- ・ 小石がパラパラと落ちる
- ・ がけからの水が濁りだす
- ・ がけの樹木が傾く
- ・ 樹木の根の切れる音がする
- ・ 樹木の倒れる音がする
- ・ がけに割れ目が見える
- ・ 斜面がふくらみだす
- ・ 地鳴りがする

#### ③ 教職員及び生徒の対応（避難等に関する事項）

対応① 自宅待機（登校前）、帰宅（登校後）

（土砂災害警報発令時又は発令が予見される場合）

- ※ 生徒を帰宅させる場合は、あらかじめ教職員による帰宅ルートによる安全確認をし、帰宅の際には帰宅・安全確認を行う。

対応② 本校グラウンド南側へ避難（土砂災害警報発令時）

- ※ 保護者への引き渡しは、原則、以下の方法による。

対応③ 真福寺中公園へ避難（土砂災害警報発令時）

- ※ 避難経路図は、原則、以下のとおりとする。
- ※ 教職員の誘導に従い、徒歩にて移動する（真福寺中公園まで約0.5キロ）。
- ※ 保護者への引き渡しは、原則、真福寺中公園で実施する。

対応④ 長良高等学校へ避難（土砂災害警報発令時）

- ※ 避難経路図は、原則、以下のとおりとする。
- ※ 教職員の誘導に従い、徒歩にて移動する（長良高等学校まで約1.8キロ）。
- ※ 保護者への引き渡しは、原則、長良高等学校で実施する。

対応⑤ 本校施設内での垂直避難（土砂災害発生時）

- ※ 北舎4階、本館3階、体育館2階とする。
- ※ 中舎には避難しない。
- ※ 垂直避難後、状況により対応③又は④の行動をとる。

## 2 「竜巻」が発生、予見される場合の対応

### ① 想定される被害状況

破損したガラス、飛ばされた物品による受傷、体が風に飛ばされることによる転倒事故。

### ② 竜巻の発生予測

#### （1）半日から1日前

竜巻などの激しい突風が予想される場合は、岐阜地方気象台から気象情報が発表され、情報の中で「竜巻など激しい突風のおそれ」という表現で注意が呼びかけられる。他にも「雷を伴う」とか「大気の状態が不安定」といった言葉に注意する。

#### （2）数時間前

発生が予想される数時間前には雷注意報の付加事項で「竜巻」と明記して注意が呼びかけられる。

#### （3）0～1時間前

今まさに竜巻やダウンバーストなどの激しい突風が発生しやすい状態となったときに「竜巻注意情報」が発表される。岐阜県といった比較的広い範囲で発表されるので、「竜巻発生確度ナウキャスト」（※）などで、危険な地域を確認する。

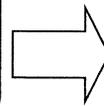
※ 気象庁HPの「竜巻発生確度ナウキャスト」で、竜巻などの激しい突風が発生しやすい地域の詳細な分布や1時間先までの予報を確認できる。

#### 積乱雲が近づく兆しと竜巻の発生・接近

気象情報の収集に加え、積乱雲が近づく兆しを見逃さない。

<積乱雲が近づく兆し>

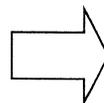
- ◆真っ黒な雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- ◆雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ◆ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- ◆大粒の雨や「ひょう」が降り出す。



頑丈な建物に避難

<竜巻の発生・接近>

- ◆黒い雲の底が漏斗状に垂れ下がる。
- ◆物やごみ等が巻き上げられ飛んでいる。
- ◆土煙が近づいてくる。
- ◆“ゴー”という音がする。
- ◆（気圧の変化により）耳に異常を感じる。



屋内の安全行動  
屋外の安全行動

### ③ 教職員及び生徒の安全行動（避難等に関する事項）

#### ○教室にいる場合

- ・カーテンを閉める（飛来物の影響を最小限にとどめる）。
- ・窓ガラスからできるだけ離れる。
- ・頭部を保護する。（できればシェイクアウト）

#### ○体育館内にいる場合

- ・ガラス面の大きい窓付近からできるだけ離れる。
- ・本館1、2階へ避難する。
- ・頭部を保護する。

#### ○廊下等、教室外にいる場合

- ・雨戸やシャッターがあれば閉める。
- ・風の通り道やガラスが飛んでこない場所や、建物の最下階に避難する。
- ・壁に近い場所で避難姿勢をとる（頭部を保護する）。
- ・建物の強度不足が予想されるため中舎を避難場所としない。

#### ○屋外での活動中（体育授業、部活動など）の場合

- ・校舎等頑丈な建物に避難する。
- ・頭部を保護する。
- ・プレハブや自転車置き場、中舎を避難場所としない。

#### ○学校の教育活動の場合

- ・体育祭・文化祭・球技大会等でテントを設営する際は、支柱に重りを付けたり、ペグで固定したりするなど風で倒壊しないようにする。強風が予想されるときは、テントを撤去したり、天幕を外したりするなど早めに対策をとる。
- ・サッカーゴールやハンドボールゴールなどは、ゴールウエイトを使用して転倒を防ぎ、強風が予想されるときはあらかじめ倒しておく。

#### ○登下校の場合

- ・飛来、落下物に注意し、頑丈な建物や地下に避難する。
- ・平坦な場所ではくぼみ等に身を伏せ、横風を受けないようにする。
- ・頭部を保護する。
- ・橋の下への避難は避ける。

## 3 「地震」の場合の対応

### ① 想定される被害状況

建物の倒壊、転倒（人、物）、落下、移動、ガラス飛散、電気・ガス・上下水道等（ライフライン）途絶、トイレ使用不可、帰宅不可。

### ② 教職員及び生徒の対応（避難等に関する事項）

対応① シェイクアウト、頭部保護（発生時）

対応② 本校グラウンド南側へ避難（発生後、余震の可能性がある場合）

※ 保護者への引き渡しは、原則、以下のとおりとする。

対応③ 真福寺中公園へ避難（発生後、余震の可能性がある場合）

※ 避難経路図は、原則、以下のとおりとする。

※ 教職員の誘導に従い、徒歩にて移動する（真福寺中公園まで約 0.5 キロ）。

※ 保護者への引き渡しは、原則、真福寺中公園で実施する。

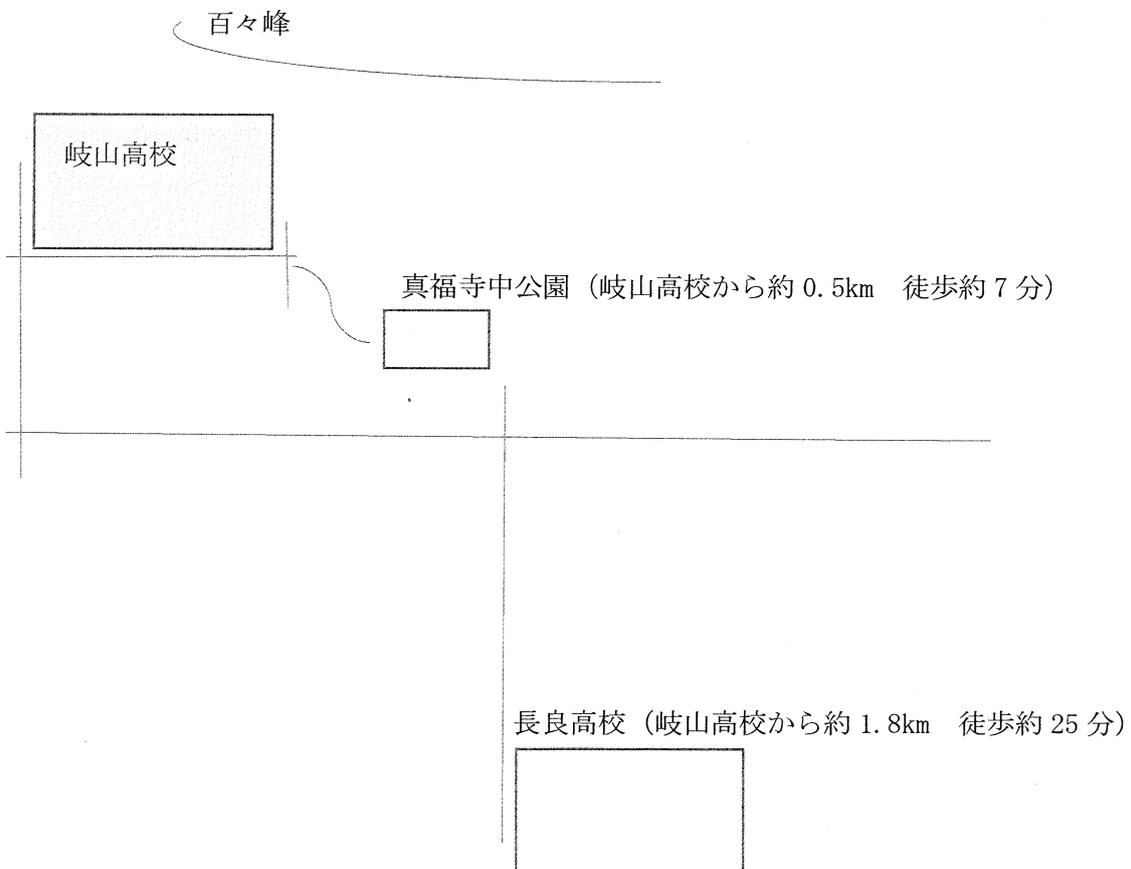
対応④ 長良高等学校へ避難（発生後、余震の可能性がある場合）

※ 避難経路図は、原則、以下のとおりとする。

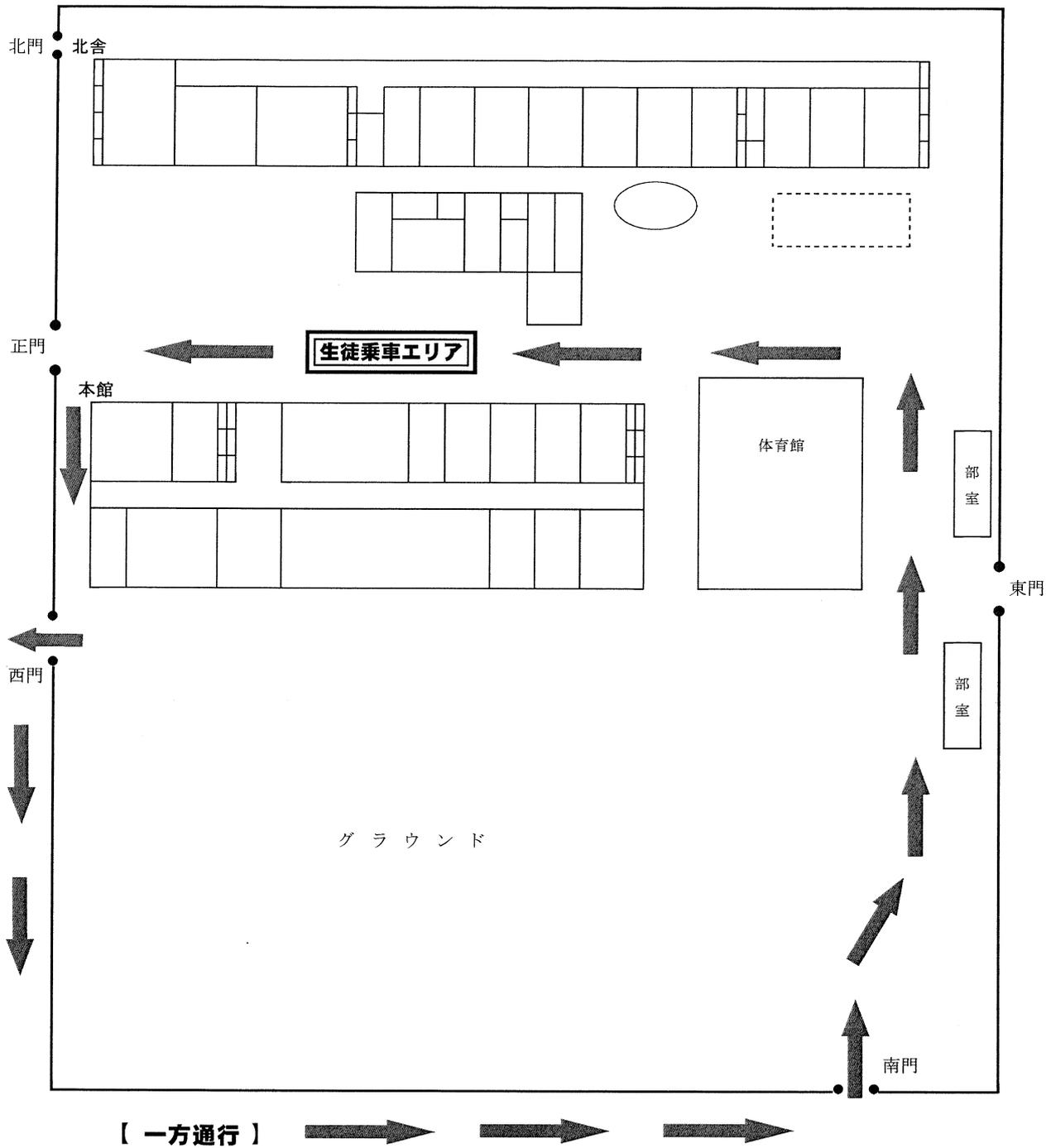
※ 教職員の誘導に従い、徒歩にて移動する（長良高等学校まで約 1.8 キロ）。

※ 保護者への引き渡しは、原則、長良高等学校で実施する。

### 3 避難経路図及び引き渡し方法



## 非常変災時の保護者迎え車両誘導図



### ◎保護者迎え車両の通行路について

- ・校地南の道路を西からの一方通行として南門を経て、部室の前を經由し、中庭（生徒乗車エリア）にてお子様をピックアップ。
- ・お子様を乗せた後は正門を通過せず、本館西側を經由し、西門から校外に出ていただきます。

※ 近隣住民の車両の通行も考え、上記のような経路にいたします。ご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。